

今月のPICK UP NEWS!



マスク姿で元気よく入学を祝う

隣の席と間隔を空け、出席者を限定、全員にマスク着用をお願いするなどの感染拡大への対策を行う中、市内の小・中学校で4月9日に入学式が行われました。人吉西小では、椎葉勇二校長から「皆さんと共に学ぶことを楽しみにしていました」との言葉が送られました。在校生は、ビデオメッセージで学校の特徴や校歌などを披露し、新入生は楽しそうにマスク越しに笑みを浮かべていました。

4月から学校再開が決まっていたため、当初の予定通り入学式が行われましたが、国の緊急事態宣言の対象地域の拡大や県でも広範囲で感染者を確認したことから、児童・生徒の安全を第一に考え、休校の措置が取られています。



人吉西小の入学式の様子(上) / 担任の先生の説明を聞く人吉西小の保護者(下左) / 名前を呼ばれ緊張した様子で返事をする第二中の新入生(下右)

盆栽展の最高峰「^{こくふう}国風盆栽展」に初出展で入選した

山下 勲さん(上林町)

今でも毎日新しい発見があります



やましたいさお

昭和9年2月25日生まれ。中原小、第二中、球磨農業高(現南稜高)に進学。昭和32年に人吉市役所に入庁し平成4年に退職。若い頃から植物の採集が好きで、さまざまな植物を自宅栽培していたが、盆栽を始めるようになってからはその道一筋45年。写真の盆栽は「国風盆栽展」の入選作品。



▲入選した作品が紹介された「盆栽春秋」と「添え」と呼ばれる石を含めた作品の写真



▲繊細な作業を慣れた手つきで行う山下さん



人吉で輝いている人

BONSAIで外国でも認識される、世界的にも人気の高い日本の盆栽。その最高峰の展示会「国風盆栽展」に初挑戦で入選を果たし、東京都美術館(東京都台東区)に作品が展示されたのが山下勲さんだ。

「毎年見に行っていた憧れの展示会だったので、入選したと電話をもらった時は、飛び上がるほどうれしかったですよ」と当時の喜びを振り返る。整然と盆栽が並ぶ自宅の庭には、趣味に始めたころから育てている45年物もあるそう。接ぎ木や剪定、水やりをしたりと、毎日根気よく向き合っている。「三度の飯より盆栽が好きです。同じものが2つとないのが魅力。時間をかけて自分なりに育てています。盆栽だけではなく台や鉢などにも気を配っています」宮内庁所有の物も名を連ねる最高レベルの展示会で入選した山下さんの作品は、育成期間が13年を迎える渾身の力作。盆栽だけではなく、台や鉢、脇に添える石なども含めた作品全体の総合美が評価された。長期間にわたって計画的に育てるコツは「盆栽は風雨にさらされた屋外で育てるもの。大切に育ててはいるが、過保護だとダメ」あくまで自然に育つのを手助けするのだという。

盆栽以外の趣味は、との問い掛けに「一切ありません。盆栽で忙しいので」と山下さんは優しい笑顔でキッパリと話す。

03 お人よし

04 | 令和2年度 人吉市の予算

05

06 行財政運営の確立を目指して 後編

07 「第3次人吉市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定しました

08 令和2年度 人吉市新規採用職員紹介

09 話題をおって

市民健診申し込み随時受付中!

10 風しん抗体検査・予防接種が無料でできます!

11 | 情報ひろば

19

20 ヒット・Biz通信
Hit-Biz通信
人吉市地域おこし協力隊です

21 ようこそとしょかんへ!

22 はい、こちら消費生活センターです
保健センター子育て通信

23 教えて! マイナちゃん
市長日記

24 わが家の愛ドル
ふるさと納税返礼品紹介

25 市民の伝言板
編集後記

26 ひとよしの情報発信・各種相談ガイド

27 休日在宅医・当番薬局・行事カレンダー

28 Hitoyoshi information / 新型コロナウイルス感染症対策・市民の皆さんへお願い

今月の表紙



人吉西小の入学式後、学級活動で先生の話に目を輝かせる新1年生。新入生45人と出席者は、感染症対策によりマスク姿で入学式を迎え、晴れの日を祝いました。